



市東さんの農地取り上げ強制執行を許さない!

12・17 東京高裁 (請求異議 控訴審判決)

—12・21 千葉地裁 (耕作権 裁判) へ!

12月17日、東京高裁第4民事部(菅野雅之裁判長)で反対同盟・市東孝雄さんの農地取り上げ強制執行を阻む請求異議控訴審の判決が下されようとしています。

市東さんが成田空港会社(NAA)から不当な農地の明け渡しを求められてから14年。成田空港は今や破産寸前です(3面参照)。航空需要は激減し、滑走路1本でも十分に間に合う状況です。にもかかわらずNAAは、市東さんの祖父が開墾し、100年耕し続けてきた農地を強制的に奪おうとしています。絶対に許すことはできません。

戦前の寄生地主制から戦争へと至った反省から「耕す者に権利あり」を掲げて作られた農地法が踏みにじられようとしています。農地は耕す人が所有するのが最も適当と戦後の農地解放が行われたにもかかわらず、その地平を逆転させて一企業の利益のために同意のない底地の売買や転用が認められてしまっているのでしょうか。すべての農家の未来がかかった問題として一歩も引くわけにはいきません。



裁判に先立ちデモ(10月22日)

市東さんは無農薬有機農業で丹精込めた野菜を消費者に届けることに生きがいと喜びを感じながら日々額に汗して働いています。何一つ落ち度なく耕し続けてきた市東さんの命にも等しい畑を奪い、生き方を踏みにじることに裁判所がお墨付きを与えることを絶対に許してはなりません。ぜひ、農地を奪うなの声をともに上げてください。

17日は判決に先立ち、東京高裁を包囲するデモ行進を行います。デモと裁判傍聴にぜひ駆けつけてください。また、12月21日に千葉地裁で行われる耕作権裁判へのご参加も重ねてよろしくお願いします。

請求異議裁判控訴審判決・東京高裁包囲デモ

12月17日(木) 午前11時半 東京・日比谷公園霞門集合 正午~デモ出発
午後2時 開廷 東京高裁102号法廷

耕作権裁判・千葉地裁包囲デモ

12月21日(月) 午前9時 千葉市葭川(よしかわ)公園集合~市内デモ
午前10時30分開廷 千葉地裁

成田市東峰地区住民が東京高裁に要望書

成田市天神峰で農業を営む市東孝雄さんの隣区である東峰地区の住民が、同じ農業に携わる立場から市東さんが農業を続けられることを求める要望書を東京高裁に提出しました。以下、全文を紹介します。

請求異議控訴事件についての要望書

2020年11月30日

東京高等裁判所第4民事部

菅野雅之裁判長御中

千葉県成田市東峰地区住民一同

私達は、本裁判の控訴人、市東孝雄さんの隣地区に当たる東峰地区の住民です。12月17日に、その控訴審判決が言い渡されると聞きました。長いこと空港問題に向き合い、市東さんと同じ境遇で農業に従事する者として、私達の思いを菅野雅之裁判長にお届けしたく書面を提出いたします。お忙しいとは思いますが、是非、目を通していただきたくお願い申し上げます。

成田の空港問題は55年を経過しました。私達は人生の大半をその渦中で生きてきました。つらいこと、憤慨やるかたないこと、差別や人権侵害など多々経験しました。そして事業認定というまな板の上での生活の中、いつまでこの地で暮らし続けられるのか、不安な日々を送りました。

そこに変化をもたらしたのは、1991年から開催された成田空港問題シンポジウム（以下、シンポジウム）でした。土地を守る側と、空港を造る側の対立関係が、どうして生まれ泥沼化したのか、その検証がシンポジウムで行われました。徹底した論議の末、力づくで農民を

ねじ伏せようとした強権的な手法が、そもそもの原因であったと国側が非を認め、今後は強制的手段を用いず、話し合いによって事を運んでいくと表明しました。

その結果、農民を縛っていた事業認定は取り下げられ、この地に残って農業を続けるか、あるいは移転するかは、個々の農民の判断に任せられることになりました。

東峰地区の私達は有機農業に取り組み、安心、安全な食料を生産するために長年努力してきました。豊かになった農地は私達のかげがえのない財産です。残るか出るかを選択の中で、当然ながら私達は残る方を選び、現在に至っています。天神峰地区の市東さんも同じ気持ちで現在に至っていると思います。

市東孝雄さんは、とても真面目な方です。父親である市東東市さんも曲がったことが嫌いな実直な方でした。近くで市東さん親子と接していた私達は、そのことをよく知っています。

その市東家が100年にわたって耕してきた畑を、農地法を無視し、小作者である市東さんの同意を得ずに秘密裏に取得し、市東さんから奪い取ろうとする空港会社の手続きは、シンポジウムが到達した尊い地点から、過去の不毛な対立の場に戻す愚かな行為であると思います。

どうか菅野裁判長におかれましては、歴史の歯車を逆行させることの無いよう、市東孝雄さんが係争地を耕し続けられますよう、賢明な御判断を下していただけますよう、切にお願いいたします。

三里塚新年デモ&団結旗開き

1月10日（日）13時半 市東さんの南台畑集合・デモ出発
14時～ 市東さん宅中庭で団結旗開き

※新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、飲食はありません。

NAA 今期784億円赤字

機能強化は白紙撤回以外ない

成田空港会社（NAA）は11月26日、2020年度の中間連結決算を424億円の赤字、通期の業績予想を784億円の赤字と発表しました。

同日、発表された成田空港の10月の発着回数は国際線・国内線ともに前年同月で半分以下。国際線旅客数は、前年同月比で4%。今年度の航空旅客数は昨年度の1割にも満たない見通しです。空港内店舗物販関係のリテール事業の営業利益は92.9%減。本業よりもリテール事業で稼ぐという路線が破産しました。

田村明比古社長は記者会見で「非常に苦しい。最大限のコスト削減と設備投資抑制を継続する」と経営破たんの危機を認めました。

ところが、第3滑走路新設などの機能強化については「成田の中長期的な競争力強化だけでなく、観光先進国の実現、地域の発展のために一日も早く実現したい」とうそぶいています。NAAは機能強化のために政府から今年度4000億円の財政投融资の支払いを受ける予定になっており、54赤字補てんに流用するためです。

断じて許すことはできません。インバウンド（外国人観光客）誘致で観光立国を進めるという政策はコロナ危機で「砂上の楼閣」にすぎなかったことが暴かれました。二度と需要が復活することはありません。テレワーク等でビジネス客は激減、気候変動への危機感から若者を中心に飛行機の使用は「飛び恥」として拒む行動も広がっています。全世界で航空路線の廃止・縮小、航空会社・空港そのものの破産も始まっています。成田においても生活・環境破壊に加えて、大量の首切りや賃下げが地元住民を中心に押し付けられています。

こうした状況で機能強化を進めることは「地域の発展」どころか、地域の崩壊を招くものになることは火を見るより明らかです。

NAAが一日も早く実現しなければならぬのは、第3滑走路建設・機能強化を凍結・撤回することであり、市東さんの農地取り上げのための裁判を取り下げることです。共に声を上げてください。

「機能強化は一日も早く実現する」
NAA田村社長の暴言許すな！

大阪地裁 大飯原発の設置許可を取り消し

12月4日、関西電力大飯原発3、4号機（福井県おおい町）の安全性に問題があると住民約130人が設置許可の取り消しを求めた裁判で、大阪地方裁判所は、原子力規制委員会による設置許可を違法として取り消しました。判決が確定すれば新規基準に適合済みの東海第2原発も含めた16機の原発の運転資格が失われます。すべての原発を廃炉へ！ 今こそ共に声を上げましょう！



地域住民の声

今回は芝山町住民からガソリン車の販売は規制しようというのに飛行機は飛ばし続けていいのか。旅客激減で成田は貨物・軍事空港になる現実が迫っているという危機感に満ちた声が寄せられました。

◆ガソリン車の販売規制を行おうというのに、飛行機は飛ばしていいのか。

芝山町 会社員

このコロナ禍で、成田空港の機能強化・3本目の滑走路は必要でしょうか？ 昨年の1～10月までの発着回数は約22万回ですが、今年は10月までで、まだ約11万回。昨年の半分です。

住民説明会で「発着回数が50万回／年になるから機能強化をさせてください」とお願いをしていたのですから、発着回数が半減した今、機能強化は凍結すべきだと思います。ところがなぜか空港会社は傲慢（ごうまん）に機能強化を推し進めています。

また、この機能強化の財源は国から4000億円の税金が使われます。コロナ禍で困っている人が大勢いるのに、今必要のない機能強化に使われようとしています。本当に、これで良いのでしょうか？

12月4日、小泉進次郎環境相は閣議後記者会見で、政府が2030年代半ばに国内のガソリン車の新車販売の事実上禁止を検討していることについて「間違いなく評価されるべきだ」とし

て「半ばではなく35年と言うべき」と言っていました。

地球環境のことを考えて世界中でCO2を減らそうという方向に向かっていのに飛行機をバンバンと50万回も飛ばしてたくさんのCO2を排出していいのでしょうか。空港会社にはよく考えてもらいたい。

◆ぶれることない反対同盟はすごい。成田を軍事空港にしてはならない。

芝山町 会社員

反対同盟のすごいところは50年一貫してブレていないところです。だからほかの住民運動にも影響を与えることができるのだと思います。

生まれ育った芝山町には愛着があります。騒音で人が住めない町にはしたくありません。残念ですが相川町長はじめ議員に町の将来を真剣に考えている人は見当たらず、目先の利益優先の政治屋ばかりです。

コロナ禍で航空需要が激減し、飛んでいる機体は貨物便が多くなりました。窓がないのですぐわかります。羽田と比べて不便なので、結局貨物空港、軍事空港になると言われていた話が現実になってきました。ANA（全日空）の国際便も羽田に行くとの報道がありました。

50万回に増えるという前提が破産したのですから第3滑走路の新設などまったく必要ありません。まずは、夜間と早朝の時間延長をもとに戻してほしいです。必要のない空港のために市東さんの農地を奪うことなどあってはならないことです。裁判と反対同盟の闘いに注目しています。